

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成22年4月8日(2010.4.8)

【公開番号】特開2008-240950(P2008-240950A)
【公開日】平成20年10月9日(2008.10.9)
【年通号数】公開・登録公報2008-040
【出願番号】特願2007-84379(P2007-84379)
【国際特許分類】

F 1 6 C 33/41 (2006.01)

F 1 6 C 33/66 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/41

F 1 6 C 33/66 Z

【手続補正書】
【提出日】平成22年2月24日(2010.2.24)

【手続補正 1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

転動体を収容するポケットが環状体の一側面に所定間隔で複数設けられている冠型の転がり軸受用保持器において、

環状体外径が、ポケットの開口に向かって径が小さくなるテーパ状に形成されているとともに、環状体外径の背面側端部にリブが形成されていることを特徴とする転がり軸受用保持器。

【請求項 2】

隣り合うポケット間に形成された柱部の背面に、径方向内方に開口した潤滑剤溜まりが設けられている請求項 1 の転がり軸受用保持器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 0 7
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0 0 0 7】

この発明による転がり軸受用保持器は、転動体を収容する複数のポケットが環状体の一側面に所定間隔で形成されている転がり軸受用保持器において、環状体外径が、ポケットの開口に向かって径が小さくなるテーパ状に形成されているとともに、環状体外径の背面側端部にリブが形成されていることを特徴とするものである。